

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株式会社プラエッジ新工場新	階数	地上2F
建設地	静岡県沼津市宮本字元野178-53	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条地区	平均居住人員	60人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2023年2月8日
敷地面積	9,702 m ²	作成者	
建築面積	3,190 m ²	確認日	
延床面積	3,356 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合 これは、CASBEE静岡2021年SDGs対応版による評価		株式会社プラエッジは、一般プラスチック加工・研磨・切削から大型樹脂加工・パイプ加工等する会社です。
Q1 室内環境 内装仕上げ材料および接着剤は全てF☆☆☆☆を使用した。	Q2 サービス性能 各階の階高は4.0m超とし、階高に余裕をもたせた。壁長さ比率を、1階0.18・2階0.26としそれぞれの空間にゆとりを持たせた。準不燃ビニールクロス使用	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の68.9%分の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。1階共用部に防犯カメラを設置し、防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー 外皮性能の向上と一時エネルギー消費量を抑えるように配慮した。	LR2 資源・マテリアル 大便器は、超節水型便器を採用し、節水ができるよう配慮した。断熱材は発泡剤を使わず、グラスウールを採用した。	LR3 敷地外環境 卓越風向に対する建築物の見付面積比を44%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場および駐輪場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。隣等間隔指数3.09を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される